

党市議会議員 坂口多美子



9月議会でも2回目の一般質問をさせていただきました。1つは生活保護制度の充実を求め、もう1つは市営住宅の連帯保証人制度の改正を求めました。住民の「困った」の声から出発した「困った」の一般質問のテーマ。なぜ「困った」ことが起こったのか、安心して住み続けられるように何をすればいいのか、わたしひとりでは迷路から出て来れませんのでした。その「困った」に何人の方が関わってくれ、一緒に調査や懇談をするなかで、いくつも光が見えてきま

2回目の質問 何人も関わってくれて

今回は、生活保護受給者が、通院するときに医療扶助が支給されることを、周知されていらない実態を告発し、「生活保護のしおり」に記載することを約束していただきました。論戦には、まだまだ不足がありますが、よりよい市政にするため頑張ろうと思える2回目の一般質問でした。



憲法9条を守る和歌山弁護士会主催の「ランチャタイムデモ」です。坂口と、森下市議、井本市議といっしょに参加しました。

9月議会質問

9月議会でも2回目の一般質問をさせていただきました。

県会議員 おくむら のりこの

赤旗 読者ニュース

2019年9月29日第374号

—奥村のり子生活相談所—
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



福祉環境委員会が開催されました。医療や女性団体の役員の方、メガソーラー住民の会の方が傍聴に来て下さいました。お忙しい中ありがとうございます。この場をお借りしてお礼申し上げます。委員会は2日間設定されていますがこれまでほとんどが午前中半日のみで質疑が終わってしまうという運営でした。県民の暮らしの問題を具体的に討議し、少しでもより良い方向に議論を積み重ねられるよう粘り強く求めてゆきたいと思います。

委員会でも子育て支援策要求

福祉環境委員会が開催されました。医療や女性団体の役員の方、メガソーラー住民の会の方が傍聴に来て下さいました。お忙しい中ありがとうございます。この場をお借りしてお礼申し上げます。委員会は2日間設定されていますがこれまでほとんどが午前中半日のみで質疑が終わってしまうという運営でした。県民の暮らしの問題を具体的に討議し、少しでもより良い方向に議論を積み重ねられるよう粘り強く求めてゆきたいと思います。

子育てにお金がかかりすぎては少子化問題は解消できません。多くの子育ての願いを新年度の予算に反映させるよう尽くしてまいります。安部政権がいっそう社会保障の改悪の動きを加速しています。少子化対策に力を入れる一方医療、介護費用を抑えるために高齢者の窓口負担や介護利用料負担を増加させる案など検討しています。10月からの消費税増税10%引き上げ強行は高齢者への暮らしに大きな打撃です。暮らしを支える社会保障の仕組みを皆さんとつくりつくり同時に転換させるために衆議院選挙勝利に向けたタッシュです。(下の写真は藤井幹夫さんの慰労会で語る奥村です)

気候行動サミットにグレタさん 現地に行ってるのにアベ氏欠席

「さあ編集だ」とパソコンを開いたら、ニューヨークの国連本部で23日開かれた気候行動サミットに参加したスウェーデンの環境活動家グレタ・トゥンベリさん(16歳)の写真が出てきてびっくりです。25日の日刊赤旗1面に大きく掲載されたのでごく一部を紹介します。「被害を受けている人たちがいる。死につつある人たちがいる。生態系全体が崩壊しつつある。三〇年以上何の曇りもなく科学は示してきたのに、どうすれば目をそらし、これで十分だなどと言えるのか」



対策を怠ってきた指導者への怒りと不信、未来への危機感をむき出しにし、若者の声を代弁しました。グレタさんは、首脳らに対し「私たちは大量絶滅のどば口にある。でもみなさんが口にできることといえば、お金のことと、経済成長は永遠に続くというおとぎ話だ」と怒りを吐露。「未来の世代の目はみなさんに注がれている。もし私たちが裏切ることを選ぶなら言おう、私たちは皆さんがこの問題から逃げることを許さない」と取り組みの加速をもとめました。

トランプ米大統領は10分程度で退出、現地に行つて安部晋三首相は欠席です。ますます世界から生まれる日米首脳です。(編集室)

9月27日	市駅前宇治交差点宣伝、本会議 (閉会)
28日	地域訪問 河北オーストリート前宣伝
29日	
30日	河西無料生活相談 地域訪問 河西デイサービスボランティア
10月1日	会議
2日	地域訪問
3日	市駅前事務所生活相談

